2023 年 10 月 5 日放送

性的指向・性自認（SOGI）に配慮した患者対応について

順天堂大学大学院　医学教育学
教授　武田　裕子

私は医師で、専門領域は、内科/プライマリ・ケアです。普段は医学部で、「健康格差」をテーマに教育やその研究を行っています。週に 1 日訪問診療を行っていて、調剤薬局の薬剤師の皆様にはいつも助けて頂いています。

さて、今日のテーマは、「性的指向・性自認（SOGI）に配慮した患者対応」です。このソジという言葉、アルファベットで SOGI と書きますが、初めて聞いたという方は少なくないのではないでしょうか。では、LGBT や LGBTQ という言葉は如何ですか？

本日お伝えしたいことは３つあります。まず、①LGBT ではなく SOGI という言葉を用いる理由、②次に、特定の SOGI を有する方が抱える困難について。最後に、③医療者・医療機関として何ができるか、この 3 つのトピックについて一緒に考えたいと思います。

LGBT ではなく SOGI という言葉を用いる理由

では､最初のトピック､LGBT ではなく SOGI という言葉を用いる理由について､「SOGI」の SO は、Sexual Orientation の頭文字です。Sexual Orientation は、どのようなセクシュアリティの人を好きになるか、恋愛や性愛の対象となる性の指向を指します。この時の指向は、方向を指す指向、指と向きの漢字 2 文字で表す指向です。趣味嗜好の嗜好ではありません。SOGI の GI は、自分の性別に関する認識（Gender Identity）の頭文字です。

よく耳にする「LGBT」のうち、LGB は、性的指向（sexual orientation）を指します。L は、女性として女性に惹かれるレズビアン、G は男性として男性に惹かれるゲイ、B は男性と女性の両方に惹かれるバイセクシュアルの B です。一方、LGBT の T は、トランスジェンダー、戸籍で割り当てられた性別と、自分自身が自認する性別が異なるときに用います。

では、今回、なぜ LGBT ではなく、SOGI という言葉を用いているか、それは、セクシュアリティは非常に多様であり、LGBT 以外にも様々なセクシュアリティがあること、そし

て、私たち一人一人にそれぞれ固有の性的指向と性自認があるということを知って頂きたいからです。

このラジオをお聴きの方の多くは、異性を好きになるヘテロセクシュアルで、性別を尋ねられたら躊躇せずに戸籍の性別を答えるシスジェンダーでしょう。しかし、セクシュアリティはそれだけにとどまりません。相手の性別にとらわれず惹かれる Pansexual や、恋愛感情が生まれない Aromantic、性的欲求をもたない Asexual、性自認がどちらでもない Non-binary や X gender、さらには自身の性自認や性的指向が定まらないあるいは決めたくない Questioning、Queer など、さまざまなセクシュアリティが存在しています。聴いているだけで混乱してきた、これ以上言われても分からない、と今思われているのではないでしょうか？本当にその通りです。

セクシュアリティは非常に多様で、いくつかの枠組みに収まるものではありません。分類すること自体、意味がないとも言えます。しかし、私たちはつい LGBT の人たちとそれ以外と区別してしまいがちです。実際は、私たち一人ひとりが、4 つの軸、「性的指向」と「自認する性」、さらには「生物学的な性」と「服装や振る舞いなど表現する性」を持っていて、それぞれにおいて異なる女性らしさ、男性らしさを有しています。すなわち、各人に固有の SOGI が存在しているのです。

ここまで、よろしいでしょうか？ LGBT の人たち、と区別して考える、あるいは特別視する存在と捉えるのは意味がないということを、ご理解いただけましたでしょうか。私たち一人一人が多用な存在であることを前提としていただき、SOGI という用語を用いて頂けたら幸いです。

この性的指向や性自認は、生まれつき備わっているものですので、本人の意思の力で変えられるものではありません。性的指向の指向は、趣味嗜好の嗜好ではないと冒頭に申し上げました。趣味であれば変えらます、しかし、性的指向も性自認も意識すれば変えられるというものではないのです。それにも関わらず、日本社会では、特定の SOGI の方々が多数派と異なるからという理由で多大な不利益を被ったり、偏見や差別の対象となっています。そしてそのために、健康を害している、健康格差が生じています。それは、医療者として容認してはいけない、避けなくてはならないことだと思われませんか？

SOGI を有する方が抱える困難について

そこで、2 番目のトピック、特定の SOGI を有する方が抱える困難について、お話します。

ちなみに、皆さんの周りに、ゲイやレズビアン、トランスジェンダーといった方はおられますか？ ときどき、「LGBT とか、今まで出会ったことはない」、「うちの地域は田舎だからそんな人はいない」、と言われる方がいます。そのような方にお尋ねしたいのですが、これまでお知り合いに、佐藤さん、鈴木さん、髙橋さん、田中さん、伊藤さんという方はいましたか？

日本人お名前ランキングで最も多い佐藤さんから、伊藤さんまで、この名字を持つ人は日本人人口の６％と言われます。当然、何人もお知り合いにおられると思いますが、日本の様々な調査で、LGBT の割合は 3〜9%と報告されています。2020 年の電通による調査では、LGBTQ という SOGI を有する割合は 8.9%です。すなわち、出会ったことがない、周りにいないのではなく、「見えていなかっただけ」ということなのです。

どうして見えないのでしょうか。それは、こうした SOGI を有する方が、社会から排除されることを恐れて、分からないように隠している、あるいは隠れているからです。当事者である私の友人は、自分を気持ち悪い存在だと思った、知られたら生きていけないと感じていた、と話してくれました。自分を偽って生きるのは、本当につらいことです。また、中には実の親から「気持ち悪い」と言われて深く傷ついた人もいます。親からも拒絶されたら、自己肯定感など育ちようがありません。

昨年、NPO 法人 Rebit が行った調査では、この 1 年で「自殺を考えた」と答えた 10 代の LGBTQ は 48.1%、実際に「自殺しようとした」は 14.0%にも上りました。LGBTQ でない 10 代と比較すると、自殺を考えた割合は 3.8 倍、自殺未遂は 4.1 倍になります。10,000 人以上を対象とした別の調査では、LGBT の約 4 割が気分の落ち込みや不安、不眠などのメンタルの症状で医療機関を受診しながら、その原因である性的指向・性自認の悩みについて話せたのは 4 割未満という報告もあります。

こうした生きづらさは、小さいころから男の子らしさ、女の子らしさを求められるなど、男女 2 元論に基づく性別役割意識、自分と異なる存在を排除しがちな文化や社会のありよう、セクシュアリティに関する無理解や偏見を是正する教育体制の不備など、社会的な要因から生じています。

現在、各地で同性婚訴訟が行われています。パートナーシップ制度を導入した自治体も増え、7 割の人はそのような自治体に住んでいますが、この制度は法律の代わりにはなりません。婚姻に伴って自動的に与えられるたくさんの特典、恩恵を伴っていないからです。財産共有ができずに遺産を遺せない、何十年も連れ添ったパートナーが亡くなっても生命保険の受け取りができず、パートナーが契約していたマンションから引っ越しを求められた、国際結婚の場合は在留資格が与えられないなど、法律的な婚姻が結べないことでたくさんの不利益が存在しています。

医療機関でも、長年連れ添った同性パートナーが同意書の代諾者になれずに治療開始が遅れたり、危篤状態なのに入室を断られるということが起きています。

また、性自認が戸籍の性別と異なる Transgender の場合、医療機関受診には様々な不安や困難を伴います。自認する性と異なる性別を想起する戸籍名で呼ばれたり、外見と一致しない名前のために奇異の目で見られることが堪えがたく、医療機関を受診しにくい一因となっています。医療機関で渡される問診票には、当たり前のように氏名、性別、生年月日の欄がありますが、私の友人は、性別欄にある男と女どちらにも丸をつけられず、頭が真っ白になって固まってしまうと言っていました。そもそも自分の身体を受け入れられないこと

から、症状があっても医療機関を受診せず診断が遅れたり、不適切な対応に心が折れて治療を中断することもあります。

SOGI に配慮した患者対応

そのような状況があるなか、私たち医療者や医療機関にはなにができるでしょうか。最後のトピック、「SOGI に配慮した患者対応」について考えてみましょう。

まず、今すぐにでもできること、それは、特定の SOGI に悩む方々をもっと理解したい、サポートしたいと考える「アライ」になることです。私自身も、「アライ」として本日の講義を引き受けました。「アライ」は共通の目的を達成する同盟関係を表すアライアンスという言葉から来ています。仲間であり、理解者・支援者とも言い換えられます。

アライとしてできることを 3 つあげます。まず、①アライであることを表明する、レインボーグッズを身に着けたり、レインボーフラッグをさりげなく置くこともできます。②ジェンダーに中立な言葉遣いをする。奥様やご主人ではなくパートナーの方と呼んだり、娘さん・息子さんではなくご本人のお名前で呼ぶ、「彼氏・彼女いるの？」ではなく、「誰か付き合っている人いる？」と尋ねるなど。性自認や性的指向を決めつけず、常に当事者がそこにいると思って行動します。③差別的な言葉や表現を用いない。例えば、「ホモ」や「おかま」、「あっち系」など。もし職場でそのような言葉が使われていたら、学習会を提案するなどしてはどうでしょうか。

施設レベルでできることも、様々あります。私が所属する、順天堂大学の取り組みについてご紹介したいと思います。

附属病院である順天堂医院は、1,051 床の特定機能病院です。

順天堂医院では、一人ひとりの在り方を尊重するという考え方に立って「SOGI をめぐる患者・家族・職員への配慮と対応ワーキンググループ」を 2021 年 5 月に立ち上げました。院内の体制を整えるために、まず職員研修から始めました。当事者医師による講演会開催に続いて、少人数制の SOGI セミナーを実施し継続しています。毎回必ず、固有の SOGI のために困難に遭遇してきたゲストを複数招いて経験を語って頂き、対話を通して学ぶ研修となっています。研修修了者には、大学のロゴ入りレインボー・バッジが渡され、「アライ」としての活動が期待されます。バッジを付ける職員が 100 名を超えたところで、総合案内カウンターや入退院窓口などに小さなレインボーフラッグを置きました。11 月には、「SOGI 相談窓口」を開設し、無料で匿名の相談を受け付けています。

順天堂医院では、以前から、同性パートナーも家族と位置づけ、インフォームドコンセントの際には、代諾者として同席頂いています。患者さんから要望があった時にはどの部門でも希望の通称名で呼ばれるように、患者さんが持ち歩くファイルに付箋を貼ったり、電子カルテを開くとメッセージがあることが目に入るようにしています。また、病衣の色を 2 色から 1 色にしました。

さらに、自身の身体に違和感を持ったり、性別適合手術を受けた方やホルモン療法を行っ

ているトランスジェンダーの方が、身体の不調のために受診を希望されるときには、事前にSOGI 相談窓口で聴き取りをして、当該診療科に連絡し、受診しやすいような配慮を依頼しています。不安なく受診していただけるよう、これらの取り組みは、順天堂医院の HP に明記されています。

多目的トイレには、レインボーシールを貼っています。当初、かえって排除していることにならないか賛否両論あったのですが、自分たちのアライとしての活動を表す最初の一歩として行いました。それを見た患者さんから、嬉しかったという投書があったり、レインボーフラッグを見た患者さんのご家族からは、「これが目に付く場所にあることで自分は拒絶されていないと安心できる。特に不安を感じているときにはホントに心強い」とツイッターに投稿がありました。こうした取り組みが評価され、昨年、PRIDE 指標で GOLD 認定されました。

こうした附属病院の取り組みは、大学の学部にも広がっています。学生から、「学内のトイレにこのレインボーシールが貼ってあるのを見つけて、相談してもよいのだと分かりました」と連絡があり、様々な悩み事を打ち明けてくれました。そうした学生たちからの声を受けて、学部でも取り組みを進めています。トランスジェンダーの学生がいる可能性に配慮して、出席簿から男女の記載をなくしました。また、通称名の使用を学生が希望した時に備えて申請書の様式を整えました。プライバシーが保護される仕組みも整えつつあります。6月の PRIDE 月間には、全学部の教職員を対象にトランスジェンダー当事者による講演会を開催し、レインボーをモチーフにしたポスターを貼りました。

さらに医学部では、今年度から、すべての学年の新年度オリエンテーションにおいて、「本学では SOGI による差別や偏見を認めないこと」、「本人の許可なく SOGI に関することを他人に漏らす“アウティング”は絶対にしてはならないこと」が伝えられました。SOGI についての相談は、臨床心理士や公認心理士が常駐する学生相談室、保健師が対応する健康安全推進センター、順天堂医院の「SOGI 相談窓口」と複数の相談先が用意されています。

こうした取り組みはメディアにも注目され、様々な新聞で取り上げられ、他大学や医療機関にも知られるようになりました。見学に来られた大学病院に、新たに SOGI 支援チームが立ち上がったりしています。

私たちの小さな一歩が、医療界に大きな一石を投じることになり、SOGI への偏見や無理解、差別による健康格差が是正されることを願っています。この放送を聴いて下さった皆様も、ぜひご一緒に一歩を踏み出して頂けたら嬉しいです。